

旭陵関西

発行人 旭陵同窓会関西支部長 杉 顕 紹
印刷所 富士精版印刷(株) TEL. 06-6394-1181

同窓会が、楽しみ憩いの場となるよう



旭陵同窓会関西支部長 杉 顕 紹 (43期)

旭陵同窓会関西支部の会員の皆様、お変わりありませんでしょうか。平素は同窓会の活動に対してご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。一昨年の総会で関西支部長の大任を仰せつかり二年が経過しようとしておりますが、この間、様々な行事を通じて会員の皆様に印象に残るひと時を持っていたり、役員一同努力してまいりました。

支部総会で、懇親会の前に、母校や郷里にゆかりの方をお迎えして実施する特別講演(公演)も今年で十四回目となります。昨年は、岩本先輩が主宰されるハワイアンバンドKokoroの演奏とフラダンスチームの公演を楽しみました。最後にはGOTOフラスコールの皆さんの指導のもと、出席者もフラダンスに挑戦するという趣向もあって、出席者一同楽しく和やかに体を動かしたことを今も思い出します。

人をどのように見ていたかということも多く資料を使って紹介されています。当時の多くの外国人産業革命を経験し近代社会に住んでいる外国人、の目には、日本人は穏やかな物腰で行動し、お互いを尊重しあい、子供や老人、女性を大切にしている世界でも最も幸福な人たちに見えたそうです。その後、明治以降の急激な近代化と産業社会の到来によって、これらの日本の良き「文明」は急速に失われていったのだと著者は述べています。

同窓会というものが持っている雰囲気は、この「近代化する前の日本」の雰囲気なのかもしれない。この本を読んでいて思いました。近代化の極点に達した現代社会では、成長をめざし互いに競争することは自明のこととされ、その中で私たちは大きなストレス

ご挨拶



旭陵同窓会会長 木下 毅

平成二十二年度旭陵同窓会関西支部総会が盛大に開催されます。事を心からお慶び申し上げます。九〇周年行事で三月一日の下関西高卒業式に新しい校旗と応援旗を送りました。皆様から多くの寄付をいただきありがとうございます。旭陵同窓会会長になって丸一年たちました。各支部の総会に出席さ

にさらされながら生活しています。そのような時代だからこそ、互いを信頼し、尊重しあう、ひと時和やかな気分を感じることができ、同窓会が、会員の皆さんがふっと肩の力を抜いて楽しんでいただける憩いの場となるよう、今後も微力ながら全力を尽くそうと決意を新たにしました。今年度の総会で皆さんにお会いできるのを楽しみにお待ちしております。



山口県立下関西高等学校校長 木村 峰 康

旭陵同窓会関西支部の皆様にはお元気に活躍のこととお喜び申し上げます。平素は多大なご指導ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。また、母校九十周年の節目の年に当たり、同窓会の皆様からは校旗を新調していただきました。ステージに飾られたりつばな校旗を前にしてこの三月の卒業生を送り出すことが

せていただきました。どの支部総会も多くの人が集まりなごやかな楽しい会でした。会長になると三月一日の西高卒業式で祝辞をのべなければならず、卒業生、在校生、保護者の前で話すが、若い人ばかりなのでとまどいもありました。そこで話した日本医師会が主催している「心に残る医療 体験記コンクール」で厚生労働大臣賞をもらった「心に残る言葉」の一部を紹介いたします。新人の高校の先生と新人看護師さんの話です。先生の受け持ち生徒が入院していました。新人ナースが「この生徒

出来ました。卒業生はきつと皆様方のお気持ちで十分感じ取って巣立ったものと信じています。またPTAもこの節目の年に記念事業を展開され、歌手の沢田知加子さんのコンサートが開催されました。生徒保護者関係各位約一二〇〇名の感動溢れるものとなりました。

学校の教育活動においては新型インフルエンザの様々な影響がありました。本校唯一の国際交流の機会となつているシンガポールヤングサミットの突然の中止、十一月からの度重なる学年閉鎖、学級閉鎖、修学旅行の二ヶ月の延期など大きな支障もありましたが、生徒達は良くこれを乗り越え、これまでどおりの実績を残しました。陸上部の山田君、囲碁部の河野君と全国トップレベルの活躍でした。国立大医学部五名を始めとする進学もここ数年の高い実績を維持しました。

さんが私のフォロワーが悪いせい、今日は一言も口を利いてくれません。」と。そこで高校の先生は「あなたはいく頑張っていますよ。私も日々失敗だらけです。」と励ましました。するとナースは「確かにそうですね。まだ一年目なので。でも、今の私の患者さんには今しかないんです。私はこれから何度でもやり直しができるけど、未熟な私が受け持った患者さんたちは、私が未熟だった時をやり直すことはできないんです。一年目だろうと十年目だろうと、そんなこと患者さんたちには関係ないんですよ。」

関高 平成22年度 旭陵同窓会関西支部総会案内

- 日時: 平成22年9月5日(日) 10:30~15:00
- 場所: 大阪弥生会館 大阪市北区芝田2丁目4-53 ☎06-6373-1841 (JR大阪駅、阪急梅田駅、地下鉄梅田駅より徒歩5分)
- 来賓: 木下同窓会会長、本部役員、木村校長他
- 会費: 8,000円(家族3,000円)
- 式次第: 10:30~11:00 総会
11:00~12:30

軽装・ノーネクタイで
ご出席下さい

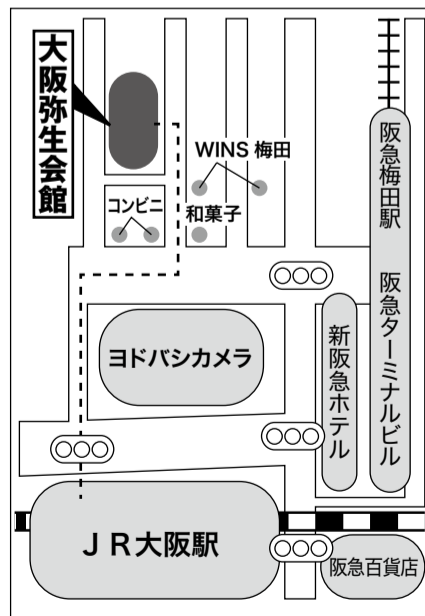
特別講演 古川 薫氏(田中 絹代ぶんか館名誉館長)(直木賞受賞作家)

◆演題◆ 「田中絹代の光と影」

12:40~15:00 懇親会

- ※同窓生をお誘い合わせの上是非ご出席下さい。(ご家族の参加も歓迎)
- ※つり銭のいらないようご準備下さい。
- ※なお、同封葉書にて出欠の連絡を7月31日までお願いします。(欠席の場合も名簿整理上必ず返信をお願いします。無回答はやめましょう。)
- ※回答後、出欠等の変更がある場合は、事務局まで必ず連絡して下さい。

「旭陵同窓会関西支部」ホームページ <http://page.freedom.com/kyokuryo/index.htm>



古川 薫氏 プロフィール
1925年(大正14年)下関市に生まれる。山口大学を卒業。山口新聞編集局を経て1970年(昭和45年)から文筆生活に入る。1965年『走狗』で直木賞候補になって以来、74年『女性蔵志』、75年『塞翁の虹』、78年『十三人の修羅』、79年『野山獄相聞抄』など候補にあがり、91年オペラ歌手藤原義江の一生を描いた『漂泊者のアリア』で10回目にして直木賞受賞。『軍神』『覇道の鷹』『毛利元就』『花も嵐も』女優田中絹代の一生などがあります。基本的な主題は長州藩・山口県とその出身・関連人物で、幕末期の長州藩とその出身・関連人物を取り上げた歴史小説・随筆などが作品の大多数を占める。日本文学協会会員・日本ペンクラブ会員。

平成二十一年度総会の状況

各地から多くの同期が集結

当番幹事 山田浩幸(五十六期)



残暑も厳しい九月六日に例年通り大阪弥生会館にて第十六回旭陵同窓会関西支部総会が開催されました。今年の総会は、我々五十六期が当番幹事にあたり、山口から恩師の佐藤太助先生、西田昇先生をお招きしました。そのおかげもありこれまで大阪にいながら連絡のつかなかったメンバーや新たに転勤で異動となったメンバー、東京や故郷の山口から来てくれたメンバー、さらに遠くは宮崎からの応援メンバーを含めかつてない十一名の同期が集結しました。

「感謝・感謝・感謝」



宮原 直樹 当番幹事

平成二十一年九月六日、旭陵同窓会関西支部総会において、当番幹事である我々昭和五十四年卒業生一同は、西高時代の恩師、友人と実に三十年振りの再会を果たし感動の渦に巻き込まれたのでありました。

同級生の面々は、それぞれに年輪を積み重ねてきたぞというような面持ちで、できればこのまま、二日でも三日でも飲み続けていたい心境でした。

また、先生方を囲んだ前夜祭では、卒業アルバムの写真をきっかけに、三十年前の懐かしい昔話に花が咲き、本当に有意義なひと時を過ごすことができました。

第一部の報告・承認の後、第二部の懇親会では、三十期の岩本先輩のご協力で今ブームとなっているハワイアンとフラダンスの競演として「Koko」と後藤フラスクールによる公演を行いました。澄んだ歌声によるクラシックや小気味よいリズムにあわせたテンポの良いフラダンスに参加者の皆さんもきつと満足されたことと思います。

公演の間には即興でフラダンススクールも開催し、皆さんユニモラスな踊りをしながら苦笑いを



多々あったかと思いますが、なんとかその役割を全うできたものとは満足しています。

年一回の最大イベントの総会を終えて、西高の同期・同窓という絆の大切さを強く感じ、多くの諸先輩、後輩達と楽しく有意義な一日を過ごせたことを大変喜んでおります。若い年代の参加者が少なく、関西支部の継続的発展という面では少し課題もありますが、今後、知恵を出し合い解決したいと思います。

最後に、山口からお越し頂いた佐藤、西田両先生に深く感謝の意を表します。参加の皆様、また本年も元気で会いましょう。

今現在の、環境は、百人百様でしょうが、西高出身者というた一つの共通点で、ここまで一体感を持って接する事ができる事が不思議なくらい、充実した一日でした。

後日談ですが、同窓会後の同輩との交流は特筆すべきものがあり、ゴルフに、飲み、音楽にと、何か題材を見つけては、しよっちゅう会合しています。明日の仕事に直接影響の無い友人と過ごすひとは、とても有意義なものです。

また、同窓会に参加されていない、特に若い世代の方、この機に一度ご参加される事をお勧めします。

馬関の街・下関、伝統に恵まれた「天下第一関」を校訓とする山口県立下関高等学校の旭陵同窓会関西支部総会に、去る九月五日(六日(大阪弥生会館))に、小宮治こと西田昇先生共々お招きの栄をいただき、錦帯橋岩国より(左)右田 一平(こと)佐藤太助も参上させていただき、感動で一杯でした。大変有難うございました。

在職中、多くの素晴らしい先輩、同僚に恵まれ、更には稀に見る良き生徒(今振り返ると)に教える喜び、およそ三十年経て、変わらぬ若々しい教え子(面影はありました、一寸だけ...)に出逢い、

も、自分たちが置かれている状況をなんとかしてくれでなく、置かれた状況のなかで、懸命に汗を出したから、今日があると俺は思っている。ざっとこういいう調子でした。とにかく前夜祭は、興奮の連続でありました。あくる日の総会では、立派な女性になっている山田・山本さんとも話ができた。西高時代は彼女たちを女子学生と思つた事は一度もなかった(失礼！しかし事実であります)総会では、ハプニングというか、すごいシーンがありました。林芳正大臣と電話が通じたのであります！太助先生にバトンタッチした時のあの姿勢、直立不動、さすが体育教師でした。林芳正総理大臣が誕生するのは確実です。その時は同期会を盛大にやるぞ！

時の過ぎるのが惜しまれる楽しい会でした。ありがとうございます。

多くの先輩諸兄とのふれあい、語り合う事が出来たことは、小生にとって今後忘れ得ぬ思い出の一頁として深く心に残る事と思います。

顧みると、忠霊塔の下のグラウンドで大声を出して青春を謳歌した事、赤禪踊りの大体育祭、死に物狂いで戦ったクラスマッチ、月曜日の朝礼では恒例の校長先生の対外模試の話・・・全て物事に耐え、自分を表現しつつ自己を確立した諸君の雄姿を拝察し、走馬灯のようにタイムスリップし、小生自身も一段と若さを取り戻しました。

同窓の皆様方、今後共に絆を深め、苦しい時、悩める時、お互いに馬関の故郷を思い起こし、猛勇果敢に人生を明るく、さわやかに、たくましく笑顔で送って行こうではありませんか。私も仲間の一人です。有難う、旭陵同窓生！益々のご活躍とご多幸を祈ります。



西田 昇 (小宮治)

「想い出の数だけ宝物があった」

風師山さ霧晴れゆき 宮原くんのエール発声に感動



佐藤 太助 (タスケ)

<p>医療法人</p> <h2>みどりヶ丘病院</h2> <p>(医療機能評価認定病院)</p> <p>診療科目：内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、 脳神経外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、 理学診療科、麻酔科、放射線科、人間ドッグ</p> <p>ベッド数：329床</p> <p>理事長 甲斐敏晴 (31期)</p> <p>〒569-1121 ☎072-681-5717(代)</p> <p>高槻市真上町3丁目13番1号</p>	<p>祐生会</p> <h2>みどりヶ丘介護老人保健施設</h2> <h3>グループホーム みどりヶ丘荘</h3> <p>ベッド数：入所107床・通所50名</p> <p>理事長 甲斐敏晴 (31期)</p> <p>〒569-1041 ☎072-692-3111(代)</p> <p>高槻市奈佐原4丁目7番1号</p>
---	---



木下同窓会会長 挨拶

平成21年度 第16回総会

於:大阪弥生会館
平成21年9月6日(日)



杉支部長 活動報告



koko'oクラシック



天下第一関の前で集合写真



当番幹事と恩師



ヨーガ体操



ハワイアン



ハワイアン講習



懇親会



二次会 (ポケット)



懇親会



応援歌



二次会 (アルル)

社会福祉法人 みどりヶ丘会

理事長 甲斐敏晴 (31期)

グリーン特別養護老人ホーム

入所70名

〒569-1041 高槻市奈佐原4丁目7番15号
☎072-690-3331

グリーンケアハウス

入所50人

〒569-1041 高槻市奈佐原4丁目7番3号
☎072-690-3561

支部行事報告

ハイキング

秋の五月山と池田市中を散策して



安野 洋一 (33期)

十一月十五日、晴れ。いつもよりやや少ない参加者ではあったが、杉支部長の挨拶の後21名が打ちそろって、集合場所の阪池池田駅を...

の一つであった。小林一三(逸翁は雅号)の自邸を転用して開館し、五十周年を期に新・逸翁美術館として新築開館したばかりで、記念特別展「茶人逸翁」が開かれている...

古代のロマン、堺市古墳群を歩く

門田 幸(四十三期)

四月四日、絶好のハイキング日和。南海電車で百舌鳥駅に集まったのは十九名。いつもよりは少ないが...



前列左が筆者

緩やかな坂道を下り最初の「定ノ山古墳」に着く。さらに足を進めると御陵山公園にある「ニサンザイ古墳」。濠に囲まれ、大きな池の中に...

されていた。有名な呉春筆「白梅図屏風」は二年に一度の公開となっている。圧倒された想いで美術館をあとにし、帰路池田市民で...

集合写真。大相撲春場所の時は、境内に相撲部屋ができ、見物客で賑わう。桜並木を進み、住宅街を歩く。「高林家住宅」の前を通り...

先ほどの「ニサンザイ古墳」よりは少し小さい。周囲を濠で囲まれている。履中陵古墳の北は園がある。トイレもあり、桜もある。人も少ない。ここで弁当を広げることにする。

ゴルフ

大先輩のパワーに圧倒されながらも楽しくプレイ



宮本 和浩 (56期)

去る五月二十二日、関西支部恒例の春のゴルフコンペが新大阪ゴルフクラブで開催されました。今回の参加者は三組九名で、昨年の同窓会で幹事を務めさせて頂きました五十六期から中谷・山本(今...

その時壊され、実に五十五年間そのまま放置されているとのこと。その橋の元の草むらに「狸」が見え隠れしている。野生の狸が住み着き、十匹くらいになっているという。「孤島」の中で何を食べ生きながらえているのか。

早速各自持ち寄ったビール、日本酒、ワインを前に盛大な花見が始まる。末光さん持参の、自宅栽培野菜の漬物、上村さん差し入れのお菓子も出され話は尽きない。

回紅一点・宮本の三名がスコアも省みず無謀な初参加、大先輩の方々のパワーに圧倒されながらも終始楽しくプレイさせて頂きました。優勝(BG)は熊野さん(四十五期)で前回に続く連続優勝となり、家に忘れてきた優勝カップはそのまま主のもとに据え置きとなりました。準優勝は高津さん(四十期)、三位は見事なニアピン二つの古島さん(三十五期)、そして西高方式という複雑なハンディキャップ方式に恵まれ、なんと私が四位の味鉄賞(安田賞)を戴くことになりました。この原稿を書いている時はまだ賞品が届く前だったので味鉄の素晴らしい神

ほろ酔い気分で大仙公園内の日本庭園に入園。なかなか立派な庭園である。日本庭園を出て、大仙公園内をずっと進む。芝生の広場では子供が駆け回り、弁当を広げた家族で賑わう。堺市博物館、堺市茶室をゆっくりと見学し、いよいよ世界最大の前方後円墳「仁徳陵」に。

仁徳陵をぐるりと半周し、南海高野線を越えいよいよ最後のコース。ケヤキ通りを西に折れると、旧天王貯水池。ここは国の登録有形文化財に指定され、普段は非公開。この日は幸運にもイベントがあり公開されていた。すでに定時の四時を過ぎていたが、中に入れたら驚くべきことがあった。この貯水池は昭和三五年頃まで使われていたとのこと。

貯水池を後にし、三国丘高校、反正陵古墳の側を通り堺東の駅で解散。ほぼ平地のコースではあったが、かなりの距離を歩いた。今回は東半分の古代コース。西半分は戦国時代以降の中世コース。近いうちに歩いてみたい。

戸牛の味をお伝え出来ないのが残念ですが、賞品が届く日を楽しみにしています。他、四十三期の杉さん、木原さん、三十九期中村さんにご参加頂きました。昨年の同窓会幹事が契機となり五十六同期の絆がますます強くなっています。七月に開催される東京支部の同窓会の幹事も五十六期が務めるため、東京地区もとても盛り上がっていました。世間ではもう決して若くはない世代ですが、大先輩に負けたくないという次回のコンペも大勢で参加したいと思えます。そして、我々よりもっと若い世代の方々の参加を心よりお待ちしております。

万一ガスが漏れたとき、ガス漏れ検知警報器が発報しなかったら、大事故につながります。警報器の点検整備は当社にお任せください。

有限会社 西村電機サービス

取締役会長 西村 勲 (33期卒業)

〒599-8253 大阪府堺市中区深阪548 TEL(072)236-9508 FAX(072)230-2204 携帯 090-1447-8368 URL: http://www.nds-mente.co.jp E-mail info@nds-mente.co.jp

ご家庭からコンビニートまで明日の安全を見つめています。

カフェミント

~ジャズと美しい映像の流れるお店~

〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5-2 新サンケイビルB1 TEL 06(6341)5047 9:00~19:00(土日祝休業)

金谷 睦子(かなたにちかこ) (59期)

ミントミュージックスクール

~オトナのピアノ オトナのヴォーカル~

〒662-0052 西宮市霞町4-31 TEL 0798(33)9170 FAX 0798(35)7717

ジャズピアニスト 金谷こうすけ

Coffee & Jazz



Cafe Mint

第16回
ハイキング
池田市中散策
2009年11月15日(日)



阪急池田駅前集合写真



ラーメン発明館見学風景



百福像前にて



五月山登山状況



秀望台展望台



昼食



池田城跡にて



落語ミュージアムにて

第17回
ハイキング
堺市古墳群を歩く
2010年4月4日(日)



百舌鳥八幡宮の大楠前集合写真



昼食状況



桜並木



いたすけ古墳の狸



日本庭園にて



仁徳天皇陵前集合写真

第20回ゴルフ大会

第20回ゴルフ 参加者一同

片山クリニック

院長 片山 啓 (48期)

〒657-0846 兵庫県 神戸市灘区岩屋中町4丁目 2番7号
TEL 078 (802) 5990 神戸市委託 病児保育室プエリ 併設

医療法人

なかじま整形外科

・リウマチ科 ・リハビリテーション科

院長 中 嶋 洋 (49期)

〒569-0814 高槻市富田町3丁目1番10号
☎ 072-690-3230 FAX 072-690-3231

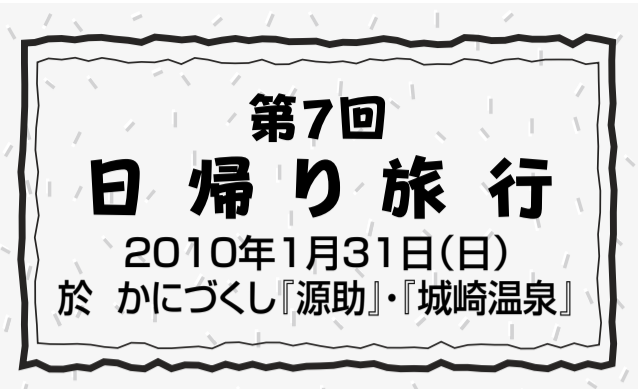


大阪駅にて

今、秘かに人気上昇中の旭陵関西のイベントが真冬の日帰り旅行「通称カニツアー」です。この旅行会も第七回目を数え完全に年中行事として定着し今年も二十六名の参加者がありました。早朝JR大阪駅から特急に乗り込むやいなや、談笑と酒盛り風景、そしてメインのカニカニ尽くしの午餐は毎回、臨場感あふれる文章を寄稿者にご報告頂いています。そこ

日帰り旅行七回目を迎え、小倉からの同期も参加

福田 征三(三十四期)



佐津一城崎の車中にて

江戸時代からの船着場である雁木や港先端の常夜灯が印象に残っています。今、ブームになっている坂本竜馬の「いろは丸事件」のエピソードに次のようなものがあります。丸と紀州藩船が衝突し、いろは丸は沈没したのですが竜馬の卓越した交渉術で紀州藩から莫大な賠償金を得て竜馬の長崎での次展開に大いに役立てたとの事でした。丸の浦は港の一部を埋め立てての架橋推進派と景観保全派で争っています。両者で良識ある解決策を見つけて欲しいものです。

第二回は福山市の鞆の浦。ここは万葉集にもある「潮待ちの港」として有名です。江戸時代からの船着場である雁木や港先端の常夜灯が印象に残っています。今、ブームになっている坂本竜馬の「いろは丸事件」のエピソードに次のようなものがあります。丸と紀州藩船が衝突し、いろは丸は沈没したのですが竜馬の卓越した交渉術で紀州藩から莫大な賠償金を得て竜馬の長崎での次展開に大いに役立てたとの事でした。丸の浦は港の一部を埋め立てての架橋推進派と景観保全派で争っています。両者で良識ある解決策を見つけて欲しいものです。

で今回は趣向を変えて第一回からのご当地案内と印象に残るシーンをフラッシュバックしてみたいと思います。第一回は二〇〇四年二月七日兵庫県香住区佐津、民宿源助での昼食会として始まりました。帰途、城崎温泉の外湯巡りや海産物のおみやげを求めて三々五々自由時間を楽しみました。城崎までの電車の待ち時間には大雪で雪山が出来ていた所に酔った勢いで倒れこんだり大の字になったりしてしばし童心に返って雪と戯れたことを思い出します。



宴会開始



かに料理(蒸しガニ)

第三回は舞鶴でした。老齢の私には引き揚げ船「興安丸」とか「岸壁の母」のイメージが強く、悲しみ、寂しさが先に立ちますが今では近代的な海上自衛隊の基地となっていてイージス艦「みょうこう」始め十数隻の護衛艦が繋留されています。希望すれば自由に見学もさせてくれます。旅のみやげは舞鶴の「とれとれセンター」売り手と買い手の熱気あふれるやりとりを印象深く覚えています。

第四回は佐津、源助に戻り歓迎されました。この回の思い出は何と言っても私の痛恨の失態。外湯巡りで一番奥の「鴻の湯」の貴重品ロッカーへ財布を入れたまま駅に戻り駅前の海産物店「おけしよ」の親切な女性店員さんに助けられ発車寸前の特急に間に合ったのは幸運でした。長く話題に残るであろう口惜しい思い出です。

この回ぐらゐまでは必ず雪が降っていましたがここ二〜三年は雪が無く、こんなところにも温暖化が顔を出しています。第五回は参加のエントリーをさせていただきましたが緊急入院、一ヶ月加療していただきましたので残念ながらキャンセルさせて頂き申し訳ありませんでした。



かにづくし



常連組



34期(右端が筆者)

第六回も佐津、源助でした。特急の売り子さんが往復ともに同じ人でした。ワゴンのアルコール類を全部平らげた、旭陵酒豪軍団に自分の事を棚に上げて売り子さん同様にあきれてしまいました。ところで佐津、城崎近郊の話題としては皆さん既にご承知の事と思いますが、かの有名な「余部鉄橋」が架け替え工事に入っています。

余部鉄橋は一九〇九年に着工され二年後に完成した高さ四十一メートル、長さ三二〇メートルのきれいな橋ですが、過去に突風にさらわれて貨物列車が転落し、数



「源助」前で

第七回の今年私の同期(三十四期)五名佐津源助へ初参加。特に小倉からの旅行に参加する目的だけで二泊三日の行程を組んで呉れた中山泰道君には驚くと同時に感謝もしています。初参加の感想は関西のまよりの良さと和気藹藹の雰囲気を感じしきりで、これからも参加すると張り切っていました。私も先輩や後輩の皆さんと他愛無い話に興じながら酒を酌み交わす事が出来る間は健康だと言う事ですから、これからも諸々の行事に参加させて頂きますので宜しくお願致します。末文になりましたが毎回、毎回お世話して戴いています役員、幹事さんに心から御礼申し上げます。

おいしさの感動をお伝えする!!

黒毛和牛専門店

(神戸ビーフステーキ、しゃぶしゃぶ、焼肉)

(株) 味 鉄

〈直営レストラン〉

・舞子 ・三宮 ・本山 ・西宮 等神戸一円10店舗

・(東京)赤坂店

日本一の神戸牛で、ゆっくりグルメの世界をお楽しみ下さい。お中元、お歳暮には地方発送もいたします。お気軽にご相談下さい。

常務取締役
舞子店長

安田好幸 (43期)

舞子店 神戸市垂水区東舞子町2-21(JR舞子駅すぐ)
TEL 078-783-3520 アドレス <http://www.k-wind.ne.jp/ajitetsu/>

阿武山こどもクリニック

院長 岡本良三 (46期)

〒569-1041大阪府高槻市奈佐原2丁目3-22

TEL072(690)3225 FAX072(690)3226

風の便り



初参加、西高時代にタイムスリップ



金谷 睦子(旧姓濱岡) (59期)

昨年九月六日に、旭陵同窓会関西支部総会に初めて参加させていただきました。参加のきっかけを与えてくださったのは、六四期生の柴田徹也さんです。当時、同窓会総会会場の弥生会館の近所で経営しておりましたライブハウス

『カフェエミント北梅田店』(残念ながら昨年十一月末に閉店、現在は『カフェエミント西梅田店』のみ営業)にて西高で同級生だった大石学さんのソロライブを開催したときに来店してくださったのが、柴田さんでした。彼に聞くとどうやら私は五十九期生らしく、いずれ当番幹事に近づきますよというところで、せっかく機会を与えてくださったのですから、顔ぐらいいは出さねばと思いい参加することにしました。

けれど、当日は、同期生もいない中、どきどきで、やっぱり参加しなければ良かったかもと後ろ向きな姿勢で「弥生会館」に足を踏み入れました。座席表を確認し、席に着き、思い切って隣に座っていらっしやう先輩に声をかけ、なんとかその場の雰囲気と和んでいきました。隣のテーブルを見れば、なんと

私の高校2年(三年だったかも)の時の担任である西田昇先生と体育の佐藤太助先生がいらっしやるではありませんか。なつかしさから思わずご挨拶にいきました。高校生の時の私は、特に何の特徴もない生徒でしたから覚えていらっしやらないだろうとは思っていましたが、とにかくお話ができて、本当に懐かしさがこみ上げてきて自分だけは当時にタイムスリップしておりました。

また、当日はたくさんの先輩が、たくさん先輩を私のようなものにご紹介くださって、正直どなたがどなたなのかわからなくなるくらい(本当に失礼!)交流を深めさせていただきました。終わってみればあつという間で、初めに抱いていた不安は吹っ飛び、正直もうすこし皆様と時間を共有できればと思った次第でした。県内トップ校の下関西高を卒業

定年後の生活

小林 英世(四十三期)

多くの同期はこの一、二年で六十歳を迎えられた。私は公務員なので、確実に定年を迎えた。公務員も景気の低迷とともに、定年は延長にならず、年金支給が先に延びた。そのため、再雇用もあるが、私は育児休業の代替要員として、あちこちの家庭裁判所を渡り歩くことにした。管理業務がないと仕事は楽。そして、他の地で働くのだから、その地その地で楽しむという目的を持つことにした。

今年の設定は登山とジャズ。神戸に来て、早速、同期の杉さんたちから花観登山で歓迎を受けた。気の許せる仲間があるがたい。一年前にも神戸にいたので、同じ山の会に再入会し、毎週のように山歩きに参加している。中には岩登りもあるし、夏にはアルプス縦走や沢歩きが予定されている。連休には、同期を誘って、勝手

しカフェ(といってもも本当に純喫茶店です)のママをしている私は大変異色の存在のようにも思われます。が、当日お目にかかれた偉大な諸先輩方々と同じ学び舎で青春時代を過ごしたことを誇りに、おいしい珈琲とJAZZを提供するお店を、これからも細々とずっと営んでいけるようにと元気をいただきました。

高校卒業後、関西の私大に進学してからはずっと関西に居つき、もはや関西生活のほうが長くなった私ですが、年を追うごとに故郷下関への郷愁も強くなっているのも事実です。2年ぐらい前から、山口県の観光親善大使を務めさせていただいておりますが、これからは、旭陵同窓会関西支部総会にも可能な限り参加させていただきます。母校のためにささやかですが、何かお役にたてればと思いましたが、本当にありがとうございます。

文楽と落語を大阪の街で



津久茂 正昭 (43期)

五年半の大阪での単身生活にピリオドを打ち昨年自宅に戻った。皆さん同様下関での思い出は尽きないが大阪での思い出を語る。国立文楽劇場は日本橋にある。今年で開場二十六年になる。東京三宅坂にある国立劇場と違いいかにも上方芸能に相応しい庶民の街の中にある。五年前に初めて人形義太夫、三味線が三位一体となつて織り成す芸を観て心より感動した。太棹三味線の音色に合わせ時にやさしく、時に激しく語られる義太夫節にのって三人の人形遣い手により物言わぬ人形が生を受け自由自在に親子の情、男女の愛、主

と。先生からしても様子見なんだろう。その日、一人キャンセルがあつて、その時間に「やってみますか?」と言われ、即答で受けることに。運よく入れてもらえたが、定員は満杯。私にとっては高額だけれど、こんなチャンスはまたとない。この一年充実予感がある。望みがこんなに早く叶えられて夢のよう。そんなこんなで、神戸を楽しんでいる毎日です。関西の同窓の皆さん、よろしくお願ひします。(右端が筆者)



従の忠義、自己犠牲、人の世の無常を演じる。本朝廿四孝、菅原伝授手習鑑、撰州合邦辻、曾根崎心中、義経千本桜、艶容女舞衣、様々な演目を体験出来た。吉田玉男、吉田養助、桐竹勘十郎、など人形遣い、竹本住大夫、豊竹嶋大夫、竹本綱大夫などの語り手、鶴澤寛治、野澤錦糸、鶴澤清治などの三味線。三百年前竹本義大夫、近松門左衛門が創始した芸能・浄瑠璃を素晴らしい世界無形遺産・文楽に育て続けた先人に感謝。

文楽を人生の過程で知り得た喜びは深く大きい。常時観る事が出来る大阪の皆さんが羨ましい。上方落語は定席小屋「天満天神繁昌亭」が出来今まででない隆盛を迎えている。東京には定席が四軒あるが大阪には戦後残念ながら無かった。苦節六十年やつと日の目を見た。大阪弁特有の言葉や言い草が江戸落語とは違った独特の雰囲気を出している。大阪には吉本に代表される漫才、ドタバタギャグ、松竹人情新喜劇の伝統がある。上方落語はそれと共存しながら四天王・松鶴、米朝、春団治、文枝たちが独自の話を育んできた。それぞれの一門の噺家が約二百人。大御所から若手まで彼らの芸がいつでも体験出来る場所にいた事は幸せであった。亡くなった桂枝雀は類稀なる才能を持った噺家であった。今それを超えようとする噺家が大勢いる事は嬉しい限りである。何よりも大阪人の視線と同じ位置にあるその庶民感覚は東京に無いものである。

愛宕山、地獄八景亡者戯、代書、立ち切れ線香、天狗裁き、寝床、はてなの茶碗、胴乱の幸助、七段目、宿屋仇、らくだ・様々な上方噺家で聴いてみたい噺である。別離は寂しい。四つの在阪オーケストラ、奈良京都の仏像にも感謝しつつ文を終える。有難う大阪さようなら大阪。

旭陵同窓会の皆さま
ポケットです
よろしくお願ひいたします

〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地1-11-19(北新地スタービル9F)

〒530-0003 北新地スタービル9F
TEL.(06)6345-3996

旭陵同窓会の皆様
新地の片隅のレトロな店です
お気軽にご利用下さい

アルル

深川 れいこ

〒530-0003
大阪市北区堂島1丁目3-33 北新地萬年ビル2階5
(堂島通り・国際モータープール隣)
TEL:06-6344-2468

旭陵ゴルフ会 発足時の思い出

百獣の王(110)でも 優勝できるコンペ



古島 正晴
(35期)

十月二十四日秋風を感じるというか、顔面に涼風を受けながら、旭陵ゴルフ会のホームコースである新大阪ゴルフクラブのグリーンに杉支部長をはじめ小中先輩、福田征三先輩等々十一名の懐かしい面々が集合した。私自身第一回の時からゴルフ幹事を務めてきたが、十九年秋に突然高血圧で倒れ、ゴルフ幹事をバトンタッチせざるを得なくなり、二年ぶりのコース復帰で特に感慨もひとしおのものがありました。

二年ぶりのティショット、青空に向かって第一打、ナイスショットと思った瞬間ボテボテの音を残して十ヤード、真白な頭の中に十年前の役員幹事会での当時の甲斐支部長の言葉が走馬燈のように思い出されて来ました。「同窓会活



嵐に敗れた幻の第1回ゴルフ会

動の活性化のためのゴルフ会を発足させる、そしてどんな人でも(下手な人でも)優勝できるコンペを考へる」との指示を受け、やはり幹事長をされていた内藤先輩の指示に従いゴルフ好きの同窓生に声をかけ、通常のダブルペリア方式でないあみだくじによりハンディキャップを決めるという旭陵独自のルールを採用して、平成十二年十一月二日に第一回のゴルフ会をセットすることができました。しかしこの日は台風の余波による強風、豪雨がゴルフ場一帯を覆う

下関での若き芸術家の 発掘と支援



水内 知子
(50期)

旭陵同窓会関西支部の皆様はじめまして。関西支部で活躍されていた同期の矢野彰一さんより、芸術家を目指す若者支援のNPO法人を下関で設立したことを関西の方々へ紹介する記事を書くようお勧めいただきました。

三年前、長男と幼馴染のモスクワ音楽院在学中のピアニストを下関に招きリサイタルを開催した際に、演奏する機会に恵まれない若者が多くいることを知りました。企画した関係者や、当日ご来場の皆様より、心豊かで実り多い時間を過ごせたとのお声を多く頂戴いたしました。この時の気持ちをきっかけに、文化や芸術を通じ地域の活性化、国際交流の場を下関でも広げたいと思ひ立ち平成二十一年二月に「芸術・文化 若い芽を育てる会」を設立し、私が会長職を勤めさせていただくことになりました。五月設立総会時点で、会の趣

この天気予報もあり、甲斐支部長に延期すべきではないかと指示を仰いだところ、その返事は「長州男子は嵐に負けてはならぬ、何が何でも第一回は実施すべし。それが当地旭陵ゴルフ会の命運を左右する」その結果は予想通りものすごい強風、強雨に見舞われ、スタートしても四ホールでギブアウト、打ち切りを余儀なくされました。そして一ヶ月後の十二月二十日に改めて開催、十二名の同志が再集合してプレーを楽しみ、私自身がはからずもアウト63イン

47、トータル110で独自ルールのハッディに助けられ、第一回の優勝者となり、優勝杯に名を記す榮譽に敬する事ができました。その上、甲斐支部長から第一回旭陵同窓会優勝のデプリカを特別に作っていただき、今も私の机上に飾っています。

その後当ゴルフ会のキャッチフレーズとして「百獣の王(110)」でも優勝できる旭陵ゴルフ会」と名付けられ、事実上の独自ルールと相俟って優勝者が日替わりで出現するという特色あるゴルフ会を

目に賛同して下さった会員が、約二七〇名あり、市長、NHK下関市局長のご祝辞を頂き、各界のスペシャリストの方々も理事職を快諾。六月市民館での創立記念コンサートにも、定員を超える四百名が詰め掛けて下さいました。信頼され、永い応援を頂くために法人設立の準備を開始し平成二十二年二月正式にNPO法人(会員450名)として認証されました。山口新聞にも活動状況が三度掲載され、カモンFM出演など、地元メディアからの応援に大変感謝しております。

今後の事業は、芸術家を目指す若者を毎年募集し、下関で活動の場を提供します。その育成と交流によって豊かな文化と温かい人間的なつながりを持つ地域社会が形成されることを願っています。夢を追いかけ高く翔び立とうとする若人に、がんばれー！と応援することそれが「芸術・文化若い芽を育てる会」の目的です。関西の方々、遠方ではあります、故郷下関での若者支援・文化活動に是非熱い応援メッセージをお願いしたいと

最後にありがとうございました。「安田賞」につき感謝の気持ちを述べさせていただきます。明石海峡大橋の橋元、舞子公園に店舗をかまえておられる黒毛和牛専門の「味鉄」常務取締役店長の、43期安田好幸氏が、同窓会定期総会、ゴルフ会等々に和牛ステーキ肉を寄贈していただいております。当ゴルフ会でも「安田賞」の名で第一回以来毎回寄贈いただき、参加者のかんりの方々の胃袋に収まっているのではないのでしょうか。何位に安田賞を持つてくるかは幹事の特権で、星占い、プレーの日、車の番号等々いろいろ考えてスタート前に発表することも又楽しい思い出となっていました。安田賞を獲得し美味を堪能すれば観戦記を書くというルールも又定着してきました。即ち第十九回「味鉄安田賞」は私が第七位で獲得することができ、この文を書いているのもそのためです。味鉄舞子店は落ち着いた良いお店で同窓会諸兄も是非一度訪ねただければうれしく思います。

旭陵同窓会関西支部役員

	氏名	期	電話番号	勤務先
支 部 長	杉 顕紹	43	06-7670-5292	東洋紡
副支部長	福田 猛彦	35	0725-56-0746	自宅
同	村上 充昭	39	06-6365-7005	村上法律事務所
幹 事 長	竹内 正文	44	06-6441-0106	関西経済連合会
副幹事長	門田 宰	43	06-6243-2321	光アルファクス
同	阿部紀一郎	54	06-6743-7388	大阪ガス
事務局長	大野 浩史	53	06-6244-5131	SMBCサービサー
会計監査	後田 敏夫	42	06-6749-1885	鋼洋
常任幹事	上村 繁典	48	06-6748-3838	誠商会
同	中嶋 洋	49	072-690-3230	なかじま整形外科
同	来島 達夫	50	06-6375-8971	JR西日本
同	永地 英仁	52	06-6266-8039	エヌアイ帝人商事
同	田底 成智	55	06-6393-9906	中央復建コンサルタンツ
同	山田 浩幸	56	06-6343-3448	鴻池組
同	三戸 和子	62	06-7494-9933	自宅
同	柴田 徹也	64	06-4396-7023	ブルデンシャルジブラルタエージェンシー
顧 問	空谷 俊和	27	0775-88-3045	自宅
同	甲斐 敏晴	31	072-681-5717	みどりヶ丘病院
同	内藤 尚	31	072-696-6202	自宅
同	安野 洋一	33	072-850-7369	自宅
同	末光 久	42	0743-76-5338	自宅

関西支部事務局 〒669-1347 三田市つづじが丘南4丁目16番14号 大野 浩史
TEL・FAX: 079-568-1535 Email:h-ohno@hera.eonet.ne.jp

◆私たちの住むこの関西、意外に知らない、訪れていない場所が多くあります。十六回、十七回のハイキングはそんな関西の街を散策しました。幕末の出来事で、横浜の生麦事件はよく知られていますが、堺事件、神戸(三宮)事件というのは余り知られていません。自分の住む街を紹介する記事、是非寄稿をお願いします。

◆今年の総会には作家の古川薫氏の講演が予定されています。平成九年度第四回総会に続き、二度目になります。今回は「田中絹代ぶなか館」名誉館長としてのご登場です。九月五日、大阪弥生会館に元気で集合しましょう。(門田)

編集後記

◆いつ春が来て夏になったのか、季節の変わり目の無い今年の気候でしたが、日帰り旅行、ハイキング、ゴルフ会も無事終えここに「旭陵関西」一五号を発行する事ができました。毎年の事ながら、原稿集め、割付写真編集で苦労します。せっかくの行事写真、全て掲載したいところですが、そうもいかず、選定に頭を悩ませます。原稿も集める苦労、割付の苦労が重なってきます。

◆「旭陵関西」も一五号になります。創刊号を見ると、紙面はもちろん、役員メンバー、広告も今とかなり違っています。これまで多くの先輩方にご協力いただきました。残念ながら、回を重ねる毎に紙面が充実、と言ふことにはなっていない。広告で資金的に援助をいただいている方々、原稿にご協力いただいている方々には大変申し訳なくお詫びいたします。

お知らせ

- 第二十一回「ゴルフコンペ」の御案内
 - ▼日時 十月二十三日(土)
 - ▼場所 京都方面
- 第十八回ハイキングの御案内
 - ▼日時 十一月二十一日(日)
 - ▼場所 京都方面
- 第八回日帰り旅行
 - ▼日時 来年一月三十日(日)
 - ▼場所 城崎